

# 歯垢・歯石検査用ライト

日本小動物歯科研究会 2020年4月 発売!!

## ライトの概要

歯垢・歯石検査用ライトは、光学的診査技術の一つであるQLF法、光誘導蛍光定量法を応用した検査器具を日本小動物歯科研究会が中心となって臨床応用できるよう開発しました。青紫色の可視光を歯の表面に照射することにより、清潔で損傷のないエナメル質は白色に、歯垢・歯石が沈着した箇所は赤紫からオレンジ色の蛍光を発します。

赤紫色、オレンジ色の蛍光は細菌の代謝産物（ポルフィリン）によるものであり、細菌の存在及び活性の証拠とされています。また発色の強さ、蛍光の強さは、歯垢・歯石の成熟に伴う、蛍光物質の蓄積を示していると考えられています。



## 用途：口腔衛生のための検査

1 歯垢・歯石の沈着程度の検査

2 磨き残しの指摘・指導

3 麻酔下歯石除去時の確認、歯石と着色・変色との判別

4 家庭での歯磨き効果の確認

## 使用方法

動物を保定し、検査部位にライトの光を当てる

\* 暗い所で検査すると、発色がより見えやすくなります。



ライトに関する詳細〔参考文献〕

網本 昭輝 杉本 大輝 藤田 桂一 本田 洋 江口 徳洋 加藤 郁 倉田 大樹 大場 茂夫 幅田 功：光誘導蛍光定量法（QLF法）を応用した歯垢歯石検査用ライトの開発。Vet i, No27, 29-34, 2020

ライト購入に関する問い合わせ

日本小動物歯科研究会 e-mail : info@sadsj.jp

